

# 川内川水系かわまちづくり轟(とどろき)地区における 取り組みについて



川内川河川事務所 工務課 前 菌 慶樹  
工務課長 平岡 博志

## はじめに～発表の流れ～



- ①川内川・轟(とどろき)地区の魅力
- ②九州初！水系全体「川内川水系かわまちづくり」
- ③轟(とどろき)地区の施工へのこだわり
- ④今後の更なる利活用にむけて

# 平成18年7月出水の状況【被害状況】



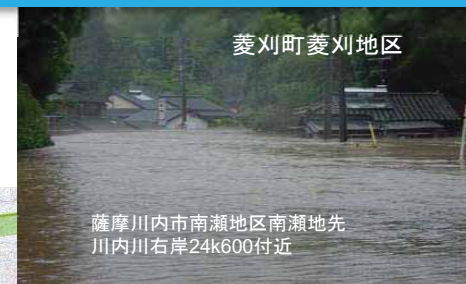
川内川水系位置図



凡 例	
	外水範囲
	内水範囲

浸水家屋 2300戸超

# 平成18年7月出水の状況【被害状況】



川内川沿線3市2町で  
「川内川水害に強い地域づくりアクションプログラム」を策定



流域一体となった取り組み



凡例	
	外水範囲
	内水範囲



# ～川内川の魅力～



山崎地区(さつま町)



湯田地区(さつま町)



鶴田ダム湖周辺(さつま町伊佐市)

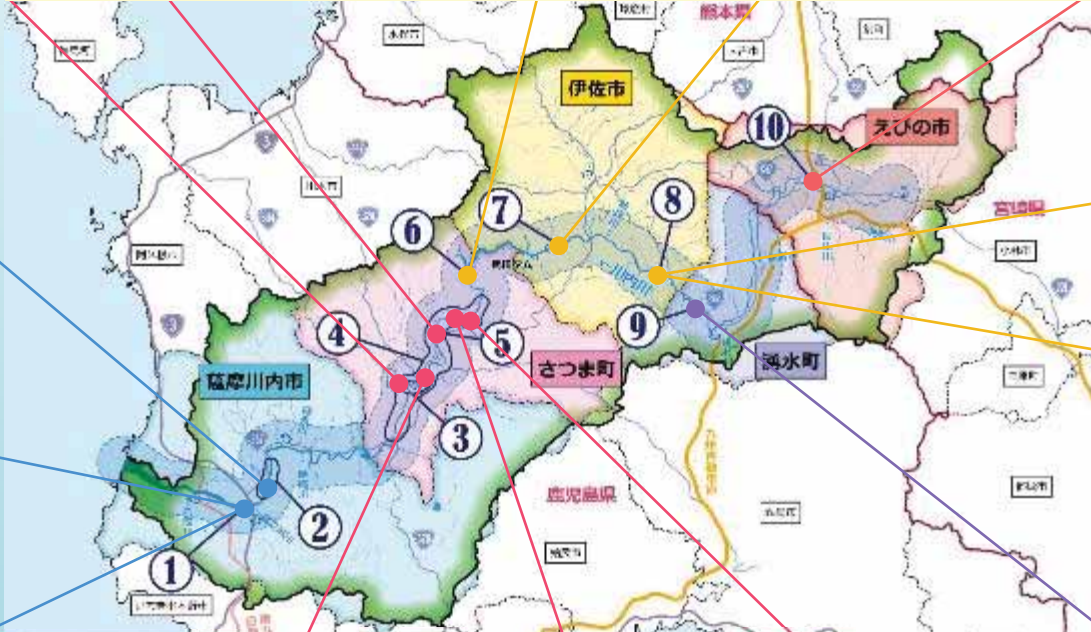


曾木の滝周辺(伊佐市)



湯田地区(えびの市)

**川内川には魅力ある場所がたくさんあります！**



向田・大小路地区(薩摩川内市)



向田地区(薩摩川内市)



湯之尾地区(伊佐市)



湯之尾地区(伊佐市)



向田地区(薩摩川内市)



宮之城屋地・虎居地区(さつま町)



神子地区(さつま町)



神子地区(さつま町)



轟地区(湧水町)

# ～川内川の魅力～



カヌー、ボート、レガッタなど川を活かしたスポーツ・観光が盛んで、日常多くの人に利用されています



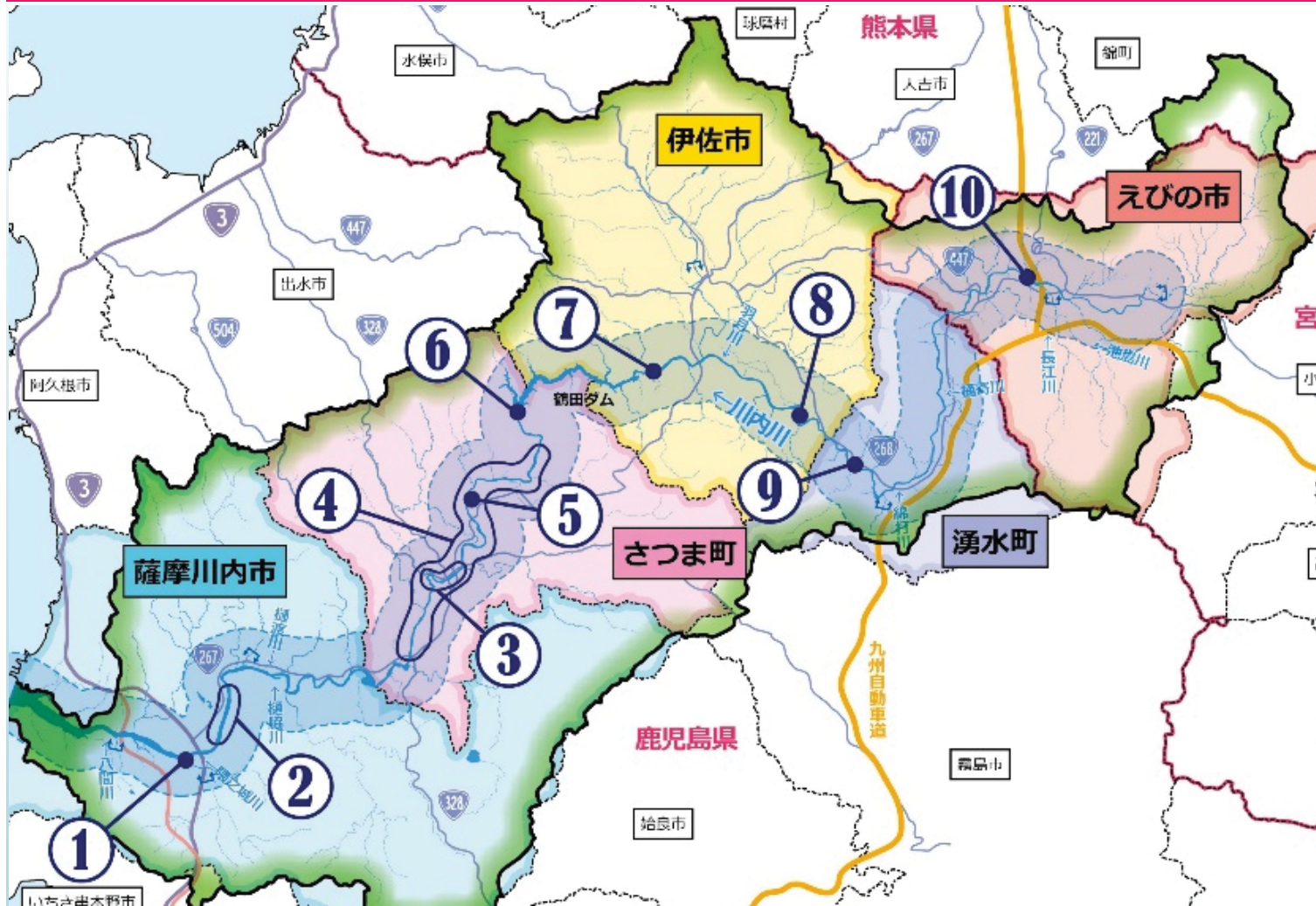
## 湧水町轟地区の魅力

○轟地区は、天然河岸がありダイナミックに川の流れが変化するため、カヌースラローム大会等が開催されるなど、多くの人の利用がある景勝地

○流れの速い箇所と緩やかな箇所が相まって存在し、スラローム会場としては日本でも珍しい天然の産地である

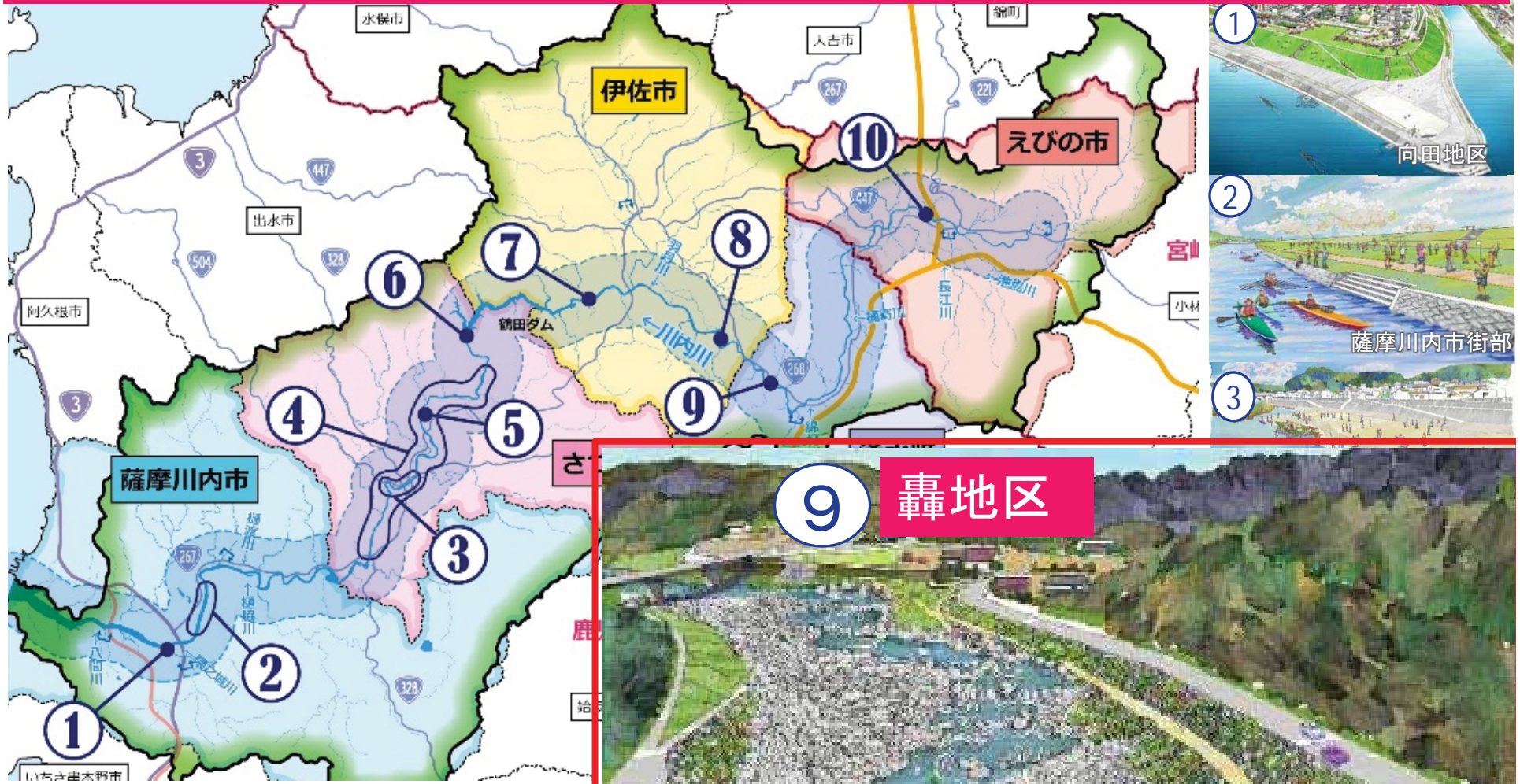


# 九州初！水系全体での『川内川水系かわまちづくり』登録（H29.3）





# 九州初！水系全体での『川内川水系かわまちづくり』登録（H29.3）



## 「川内川水系かわまちづくり」登録

- 個々の川づくり・まちづくりでは、効果が限定的
- 地域と地域が連携することで、**単独地域では成し得ない地域活性化を創出**



### 水系一体かわまちづくりのメリット

- ① まちそれぞれの魅力を見直し、新たにPRすることで  
まちの魅力アップ
- ② 県境を越えて各市町の観光局と広域に連携  
(かわまちづくり観光振興部会)



### 現在の取り組み

- 川内川流域の魅力を伝える「**観光PRマップ**」
- 上流から下流までの「**モニターツアー**」等

# 「川内川水系かわまちづくり」登録

観光PRマップ：川内川流域の魅力を伝える広報活動を行っています

## 川内川流域を 楽しもう！

**かわまちづくりとは？**  
各地には、水辺と共に長い歴史を刻んできた地域利便と調和した豊かな文化や観光資源ともなる優れた景観を数多く抱えています。こうした地域の景観、歴史、文化を基盤とした地方公共団体や地域住民との連携のもとで、川内川とまち空間の融合を図られた高品質な景観形成を目指す取り組みが、かわまちづくりです。

豊かな自然をもたせしめ、川内川とその流域には、見どころがいっぱい。川内川の長さは約77km、九州では筑後川に次ぎ、第二の長さを誇る河川です。流域には、様々な人々の生活や歴史があります。

**伊佐市**

**曾木の滝分水路**  
伊佐市の南端に位置する分水路。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**伊佐市**

**曾木の滝**  
伊佐市の南端に位置する滝。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**曾木築田所遺構**  
伊佐市の南端に位置する遺構。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**奥藤蔭のホテル舟**  
伊佐市の南端に位置するホテル。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**鶴田ダム**  
伊佐市の南端に位置するダム。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**五社下陸脚**  
薩摩川内市の南端に位置する陸脚。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**薩摩川内市**

**長崎堤防**  
薩摩川内市の南端に位置する堤防。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**川内川あらし**  
薩摩川内市の南端に位置するあらし。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**さつま町**

**ちくりん公園**  
さつま町の南端に位置する公園。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**湧水町**

**日本産出量 幸田の棚田**  
湧水町の南端に位置する棚田。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**えびの市**

**里沙門の滝**  
えびの市の南端に位置する滝。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**えびの市**

**阿波瀬谷**  
えびの市の南端に位置する瀬谷。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**めぐね橋**  
えびの市の南端に位置する橋。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

**クルン橋**  
えびの市の南端に位置する橋。その雄大な雄姿は、自然の雄偉さを体感できる。また、分水路には、自然の雄偉さを体感できる。

## 整備前(轟地区)

左岸道路より川内川を望む



- ①岩盤の上に転石があり、自然な景観であるが、水際に近寄りづらい。
- ②草木が茂っており、河川利用するには安全性やアクセス性に難があった。

# 課題(河川利用状況)(轟地区)

## 整備前の状況



## 課題

- ・水辺への安全なアクセスが出来ない
- ・高低差が大きく、小中学生が河川を利用しづらい

# 景観カルテ(轟地区)

○設計段階で景観分野の学識者への協議を実施。  
→轟地区景観カルテ作成

川内川 轟地区環境整備事業 景観カルテ <施工段階>

川内川河川事務所

1. 事業概要	2
2. 景観に関する基礎情報	4
3. 目指すべき景観の方向性	12
4. 目指すべき景観を実現するための方針	13
5. 設計段階における留意点・検討事項	13
6. 方針との整合	14
7. 施工段階における留意点・検討事項	20
8. 調査・検討の履歴	20
9. 今後の検討体制	20
10. 委員会の記録	21
11. 完成状況及び維持・管理段階における留意点・検討事項	26
12. 維持・管理状況	27
13. 事後評価	27
14. その他特記事項	27
○ 連絡先	27

カルテ番号：河-〇〇-〇-〇

検討段階：施工段階

地点名：川内川

起点：川内川 83k200

(左岸：鹿児島県姶良郡湧水町恒次、右岸：同町稲葉崎)

最終修正年月：H31/3

終点：川内川 83k600

(左岸：鹿児島県姶良郡湧水町恒次、右岸：同町稲葉崎)

## ●目指すべき景観を実現するための方針

### ①日常及びカヌー大会時に安全で快適な利活用が可能な水辺空間の整備

- ・カヌー競技者が利用しやすい
- ・カヌー大会時に幹川しやすい
- ・回遊性と維持管理性に配慮した散策路

### ②自然の力強さを感じる景観の保全

- ・既存の景観からの改変を最小化
- ・人口構造物を極力設置しない
- ・人工構造物を必要とする場合、周辺景観との調和を図る

### ③地域活性化と地域内外の交流の促進

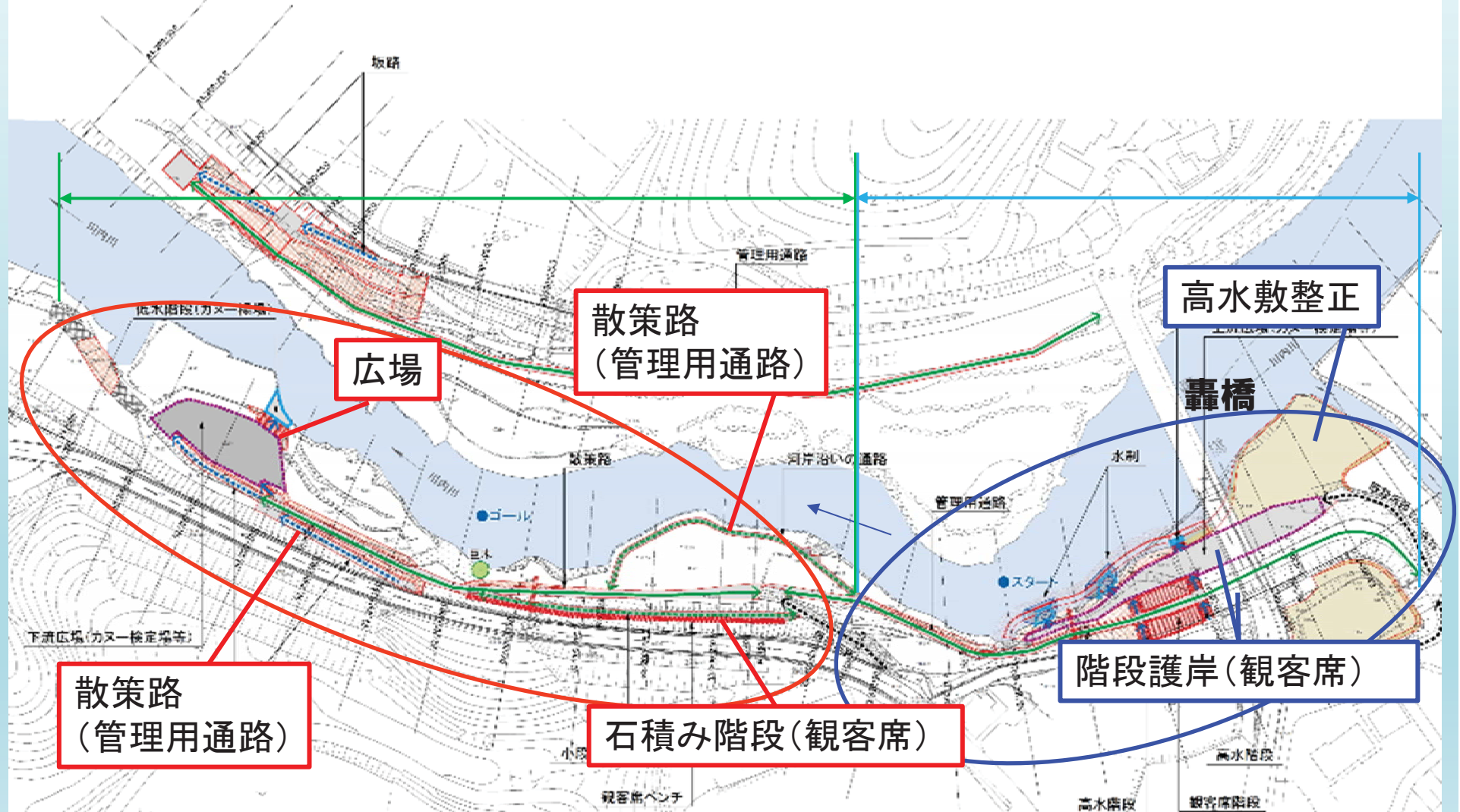
- ・各種ソフト対策と継続的な維持管理に向けた体制構築



# 整備内容(轟地区)

■ 轟地区におけるかわまちづくり整備のコンセプト  
“轟く”流れを誰もが体感できる賑わいの川を目指す

## ● 施設配置図





# 景観の保全について【施工へのこだわり】

## ①河岸の岩盤と巨石、河畔林を極力保全する

### ◎轟地区の景観の重要な構成要素



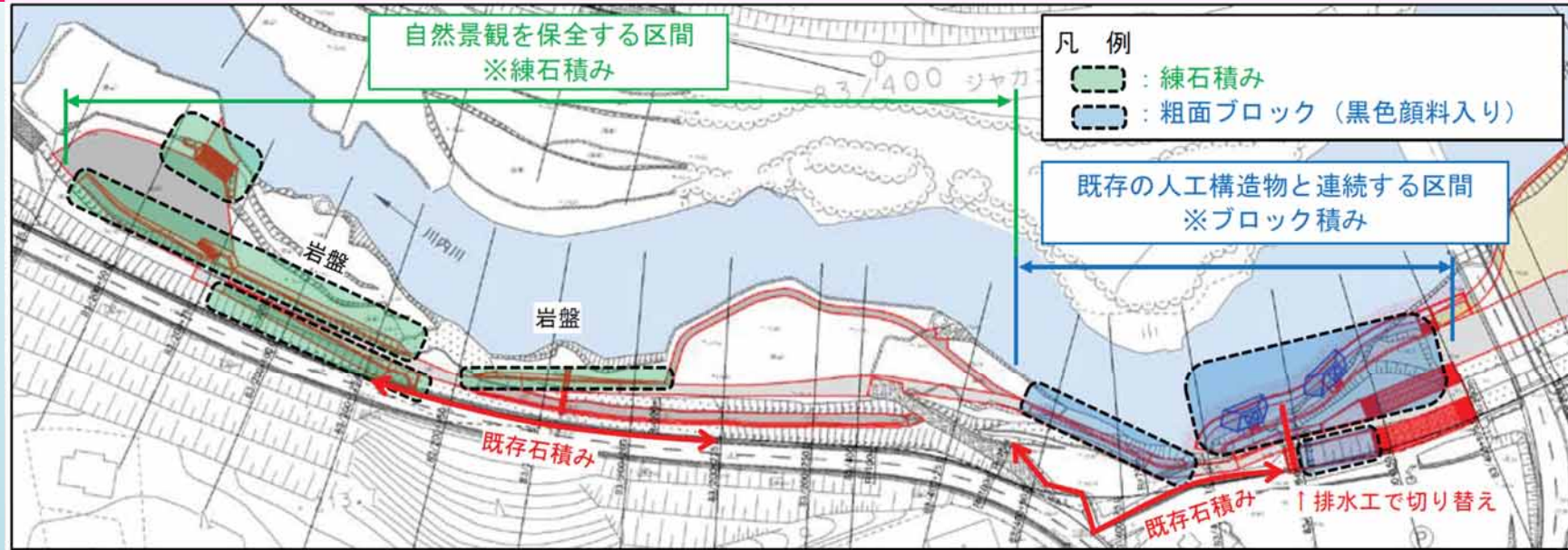
巨木・巨石はできるだけ保全



水際は改変しない

# 景観配慮の護岸について

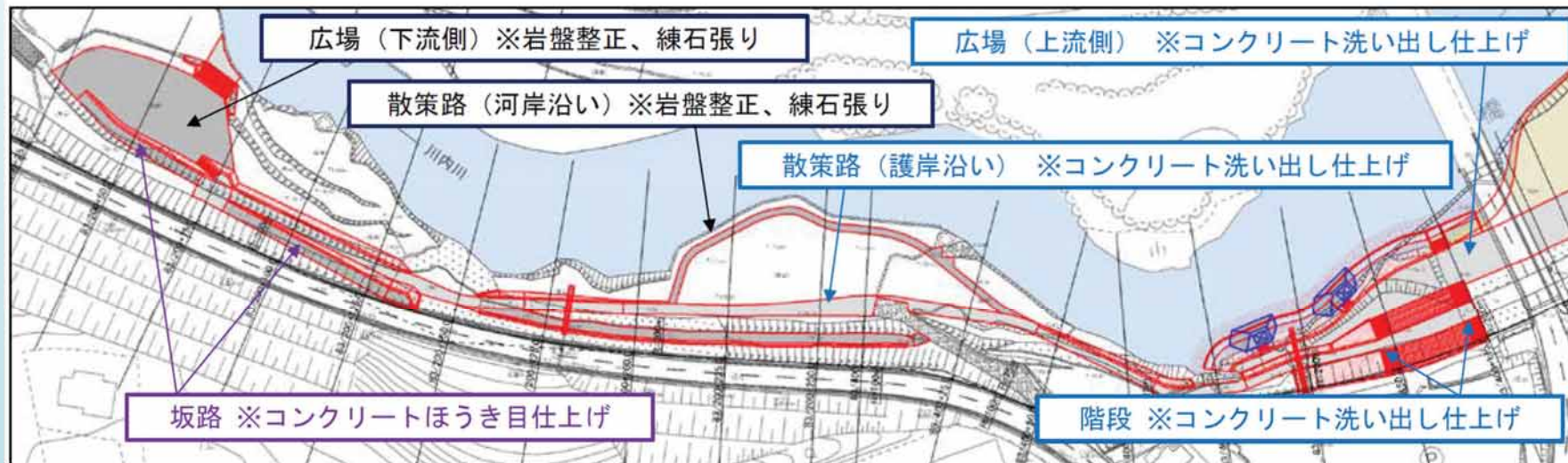
- ② 自然景観を保全する区間は、練り石積み護岸を基本とする
- ③ コンクリート露出面を最小化し、人工的な直線ラインが出ないように留意



# 階段・坂路・管理用通路・広場について

## ④周遊しやすいように散策路や階段・坂路を配置する

➡ 歩きやすいようコンクリート舗装とした



洗い出し仕上げ



## 階段・坂路・管理用階段・坂路について

⑤ 散策路や階段・坂路等の舗装は、利便性と維持管理性、及び景観性を考慮した仕上げとする

◎ 低明度のコンクリートブロック護岸  
黒色顔料0%、1%、3%、5%混入  
のブロックサンプルを比較

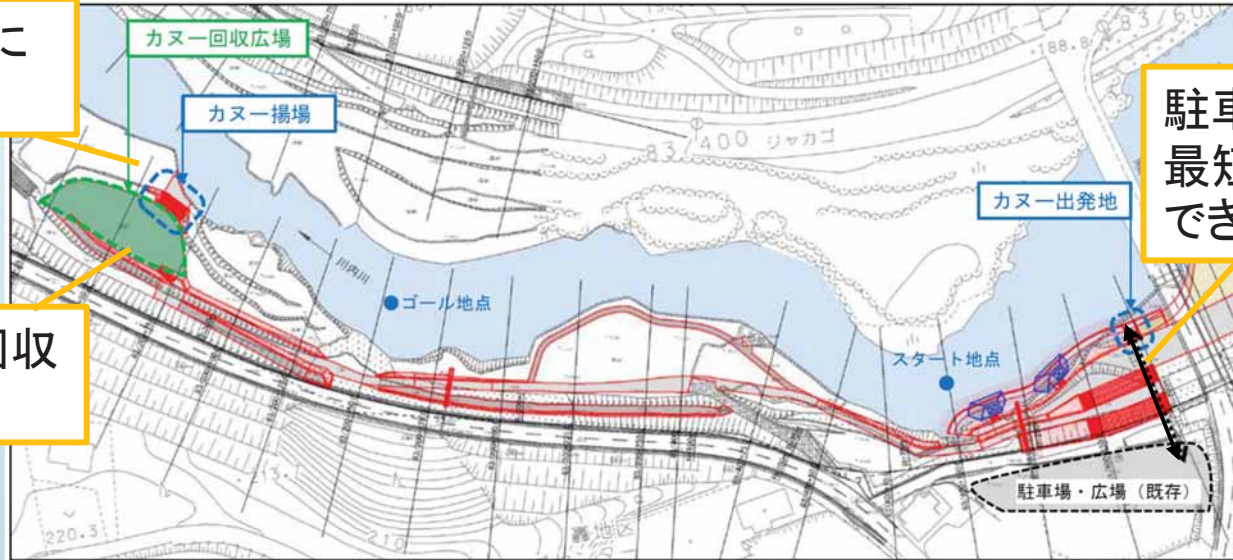


# 発着場について

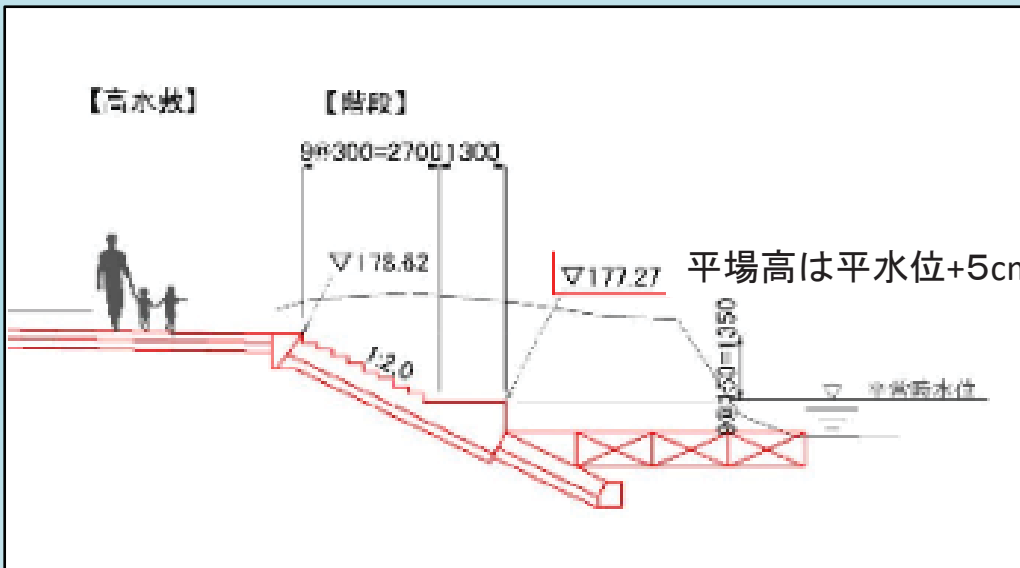
- ⑥安全で快適にカヌー利用がしやすい位置に発着場や階段、広場を配置する
- ⑦カヌー関係者へのヒアリングを踏まえて発着場の規模や水際の高さを設定する

流れが緩やかになる箇所

駐車場から水際を最短距離でアクセスできる箇所



車でカヌーを回収できる広場



カヌースタート地点

# 轟地区かわまち推進協議会による現地確認

## 3回の現地検討会を行いました

設計から施工まで地域一体となって進めることで景観性、利便性の高い調和のとれた整備



【出席者】熊本大学  
湧水町  
河川協力団体  
力又一協会 等

# 整備後(轟地区)

整備前



整備後



2020年

～燃ゆる感動かごしま国体～  
会場に決定

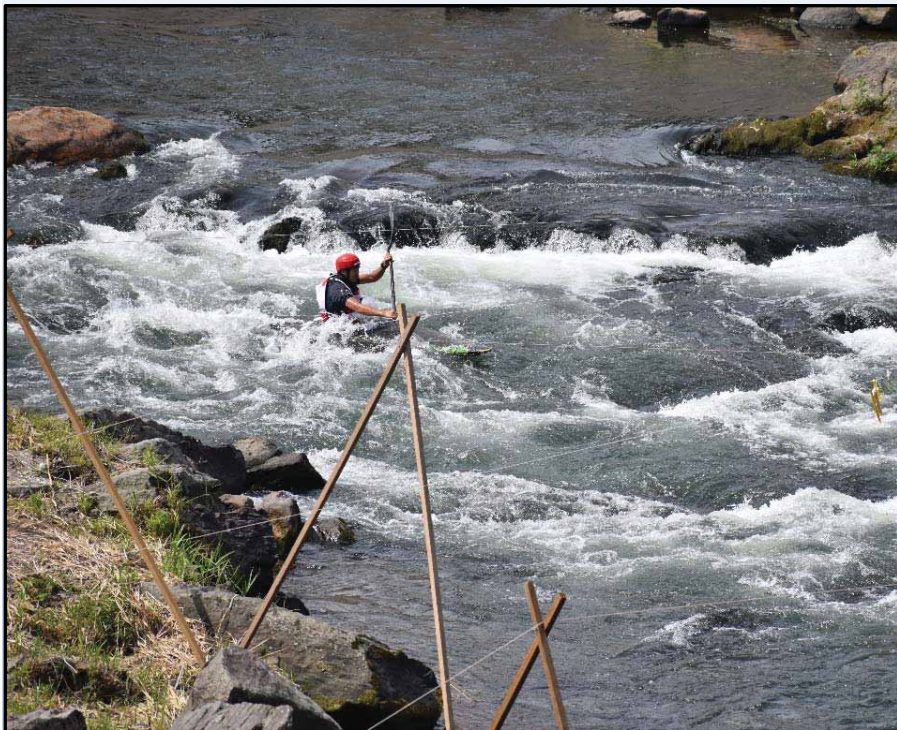


令和元年8月国体リハーサル大会開催！



# 地元からの声(轟地区)

H31.5.26 国民体育大会(九州ブロック大会カヌー競技会)



## 地元からの声

- ・とても利便性が良くなった
- ・昔から話してた夢が実現して、大変満足している
- ・施工中も意見を聞いてもらえて理想どうりのものができた

湧水町ご当地キャラ『ゆうたん』

### ◎今後の課題

- 整備した石積みの隙間から植生が生育するため、維持管理が重要
- 近傍の轟小学校（現場から約100m）を中心に、
  - ◇ 河川の勉強の場、
  - ◇ 現場を活かした環境学習の場、
  - ◇ カヌーを利用する親水空間の場として、地元の方々に広げていくような仕掛けが必要

## 今後の更なる利活用に向けて

「轟く(とどろく)流れを誰もが体感できるようなかわまちづくり」

を地域一体となって進めていく

